# 熟練保健体育教師の発問に対する省察のプロセス

## －中学校保健体育授業のエスノグラフィーを通して－

杉本敬太　（　宇都宮大学　）

### １．目的

本研究では，熟練保健体育教師の体育授業の発問に対する省察のプロセスを検討し，発問が生徒の学びにどのように機能しているかについて明らかにすることを目的とする．

### ２．研究方法

本研究は，エスノグラフィーの手法を採用し，対象へのインタビューの記述分析による発問に対する省察のプロセスの探究（研究Ⅰ）と生徒の記述による発問分析（研究Ⅱ）から成る．

対象者は，教職歴 20 年目の A 教師（以下 A）である．エスノグラフィーで集めた情報を基に，研究Ⅰでは，A に半構造化面接を 3 回実施し得られたデータは質的統合法（KJ 法；山浦，2012）を用いて分析した．研究Ⅱでは，毎時間の生徒の振り返りの記述とAによる発問を分析対象とした．収集されたデータは，KH Coder の共起ネットワーク分析を用いて，毎時間の生徒の記述分析を行った．

### ３．結果と考察

1）発問に対する省察のプロセスの探究

分析の結果，36 枚の元ラベルが形成され，2 段階の統合を経て8つのラベルの統合された(図1)．

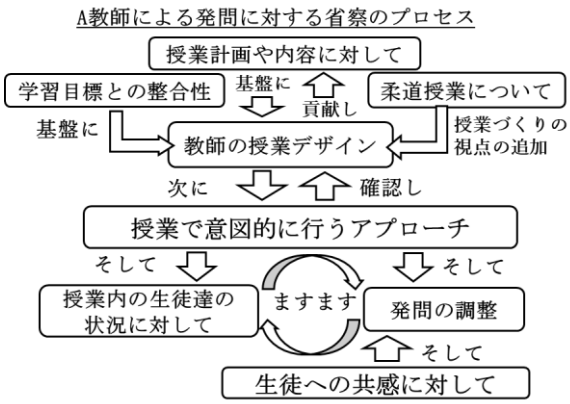


図１ 作成された見取り図の概要

A は発問を展開するまでに複数の事象を関連づけており，それらを省察することで，よりよい発問を生成しようとしていた．そして，A による発問に対する省察のプロセスは単なる技術の向上だけでなく，授業デザインや学習目標，授業計画といった授業の構成要素と結びついていた．また，A が自身の発問を通じて省察したプロセスは，生徒への理解を促進し，効果的な教育の実践に貢献していると解釈された．

2）生徒の記述に基づく発問分析

観察できた 81 件の発問の中から抽出した 4 件の発問を分析対象とした．その内，①「受け身はなんでするのか」と②「どうやれば倒せるのか」の 2 つの発問において，発問を受けて予想される記述が多く行われていた．

①では,「受け身－ 怪我」の結びつきが見られ安全性への理解が伺えた．そして，主体的な学びを促進していることが考えられた．②では,「崩す－バランス－ 足－ 相手」の結びつきが見られ，柔道の技術的理解だけでなく，戦略的思考の向上も見られた．

### ４．結論

本研究では、A は自らがもつ授業デザインを基に発問を考えていた．そして，授業の構成要素と生徒の実態を把握する教師行動が発問の省察に影響していた．さらに,“楽しさ”に焦点を置いて考えられた発問は，柔道の技術的理解だけでなく，安全性への理解や戦略的な思考を養う手段として機能していた．

このことから A による発問は主体的かつ多角的な学びを促し,自己成長に繋がると推測される．さらに，A による発問プロセスが生徒の学習意欲を高めることに繋がり，主体的に取り組む要因となっていると考えられる．